



俄羅斯紀聞二集  
九

早稻田大學附屬 圖書館	
寄第	周田氏寄託
	6544
第	20
第	19
出帶許不外	

ル8  
2994  
19





俄羅斯紀聞 二集

第九冊

摸烏兒 獄中上書上

第十冊

摸烏兒 獄中上書下

異人雜話

PC08  
01





凡 87  
3038  
19

凡 8  
2994  
19

文化九甲年六月但馬守歸府之師持系  
同八月六日本書換文字相詠於酒田  
月着伴良吉殿、但馬守直上ケ



毛内儿存奇之及甲少以換文字及誤為仕小書面

小笠原伊賀守

荒尾但馬守

魯亞人毛内儿存奇之及甲少以換文字書面及誤書



文化九年六月但馬守政府之御掛系

海防ノ上書

大日本帝王之鑑蓋松前年ノナニリエトロフ其外端所々

所奉以不レ定系俾勢也御荒所但馬守御

魯西亞帝王之士辰

七ウ儿譯而中上以

一 所奉以不レ定系俾勢也御荒所但馬守御

日新報忘生烟ハ張紙烟至而前ハ一以時節ハ可立レ九ウ

御厚恩ハ榮レ之レ也中連且名御彼人方レ之レ也我運出長ハ在

之精也ハ物レ一神明ハ行ハ魂ハ徹レ一五長レ之志即ハ是ハ友

办居也ハ知世夜不存也私得信ハ者思也其按ハ御厚恩ハ蓋也

仕進去ハ亦私ハ重難ハ抵レハ中口キ也三再臨室ハ中投入ハ志也

抵レハ其末ハ其也其志也即ハ其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也其也







為之節登城之舟身よて長城也又古今載之也乃古昔  
或之節也為之之於今也上ノ下

此上レサノフニル長湯ル長城レサノ下ニ長ノ下

世度文字ニ長城ル也及 沃仕ル也上レサノフニ下度ル也古

三 通長城ノ下

破之世御渡之其原東島並私日本地下来り也乃之裏山焼  
并之長城ル也其後を私古初而取りゆる也其後一并謀需嗚  
其打心也此等也其子也其國ニ之海りゆる也其叶不中レ之  
分く何れ也又ホーレトフ乱時之味来ニモ又世御也

為之節つとも素より他人ニ世御私之舟ノ事ニ之ニ是ノ事

報返一申取可也其舟也世御也其後が舟ニ海ニ之舟也

舟身ル也其もクニリル也其舟也其夫人全舟ノ利を合

以舟身ノ上ト口ニ長城也其國人 後名イヌホラウニ日姓名

口ニキンを舟身ノ名分也其舟也其舟也其舟也其舟也其舟也

國ノ舟也其舟一松前地方ノ舟に被モハナレニ私

本文モハナレニ上ト口ノクナシリロシエタシニニ色

より松前ニ之を曾西面分鳴ル名ニ山底山並蝦夷人等

浮山有之也舟右ノ名也施一由中歩















お叶の中事と申す御水は身若船と相公朝と上法に  
夜と申す舟橋舟と申す法此の宗宗の意友友

秋炮打哉と申す法御水は身若船と相公朝と上法に  
夜と申す舟橋舟と申す法此の宗宗の意友友

右の由と申すこと言物と法より横取の法と申すは  
も相板をわく御水と申すは申す法と申すは  
物と横も法と申すは横取の法と申すは  
登城の法と申すは御水と申すは御水と申すは  
よと申すは御水と申すは御水と申すは  
法と申すは御水と申すは御水と申すは  
よと申すは御水と申すは御水と申すは



昔法ニ吹味中を如何に事あるに在述去りて  
右法を尸後改飛巴之法を尸にも云ふ也とも能合実  
飛ニ此法とも吹味中を如何に事あるに在述去りて  
心算況寄飛成り能にも尸後改飛巴之法を尸にも  
何れも飛状極りる尸内述去りて如何にも有  
至極成りるに云ふ事子極極成りるに云ふ事

不及尸古所著悲色ニ此極成りるに云ふ事  
至極成りるに云ふ事子極極成りるに云ふ事  
尸は是に御事にも云ふ事極成りるに云ふ事

先後と飛と一尸為此法古來より云ふ後言及を有述  
人よとも極成りるに云ふ事極成りるに云ふ事  
第一而此法に成りるに云ふ事極成りるに云ふ事  
よひて此法又為五箇五方之飛極成りるに云ふ事  
飛りて成りるに云ふ事極成りるに云ふ事  
オロキ也と偽狀述去りて極成りるに云ふ事  
也志も此法成りるに云ふ事極成りるに云ふ事  
取附りて極成りるに云ふ事極成りるに云ふ事  
為りて極成りるに云ふ事極成りるに云ふ事







松本松三ア十層投千二百七年 不邦文化四年 之為福

凡利無之湊ホルキムニ移立ル節 在之也 不忠後後先は

歩辰と存不ル約た工し十ノハ 山由名ニ 海ノ山古考は

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

士バロナビリサ

此ハ早とアハ早 不邦大石山ニ 移立ル節 在之也

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ

山由名ニ 山由名ニ 海ノ山古考は 山由名ニ 山由名ニ



為國に及ぶ打換役人商人を引渡すに交易法は  
不可成るものなり

平文アメリカロスコンパニヤの役も亞墨利加地方  
之産物と取扱は商人催合持合而之名も産物  
一併亞墨利加地方之美の國五分を拓仕は場不也  
之由先年商人を初る所職官扱仕知りて官  
人も所職辰なり先年マホーの力進め商人も旅  
に存寄政事に船を仕かりりウツケ積置か亞墨利  
加地方に所職交易仕の處長互に産物と暮り未

器國語及び年々死傷する者も少なり是は商人  
貪利之むる地吏を凌り事あるは其の事イルコ  
ワカニ大商セルボノモリに其の石年々ニ世職果は  
商人を其に集めユシハニヤと取<sup>建</sup>仕は國語  
役も其のり安地吏<sup>地</sup>扱育も可宜辰中是のり其の  
於に之の子國王諸役人を取仕右コニハニ法令に  
中彼彼アメリカロスコンパニヤの唱候合カ全取建  
大商人三人才を取集り合限とあり名右地方に産物  
取換取仕は甲申右子ウツケ則其コニハニヤ扱







之物賣後は名所を有るは名所なるは右にハナフ  
此の別度之は魚を廣く之地方中ニ條令しり  
彼より運送出は其長辰へテルフルク之右にハニ  
ヤ徳の長之より中運年之友松を般つても右  
ノトクハナハケルスコイルを裁取ルルハボスト  
人裁裁ゆも右折之品之交易<sup>ツク</sup>中ノ叶<sup>ハ</sup>中ノ葉  
ハ右右之辰を裁取ルルハ中ノ辰徳の長之役人三人  
若し之を長文を裁取ルルハ中ノ辰役人ボスル  
地ノ裁裁取ルルハ中ノ辰役人ボスル  
之以来右折之品を裁裁取ルルハ中ノ辰役人三人  
右折ゆも右折之品を裁裁取ルルハ中ノ辰役人三人  
之右右之辰を裁取ルルハ中ノ辰役人三人  
二ヤ姓名コトハハナハケルスコイルを裁取ルルハ中ノ辰役人三人  
之ヤアツカ希長中ノ辰役人三人  
祇一同出帆中ノ辰役人三人  
一右本文目書之存あり中ノ辰役人三人  
目書地ノ之を中ノ辰役人三人  
中ノ辰役人三人







仕込飯ニ付

一 何國も同く事なる者人々士農工商の三は仕込は  
事一命小西善利加三船國の善西領地一角の年々更  
易は事之知事官品持渡りしは善西領地内仕込  
との名又外航海にても故障は仕込は門前  
いやの長たふたふと持渡りしは善西領地内仕込  
一 兵中より中より事仕込は善西領地内仕込  
を彼領地にも事仕込は善西領地内仕込  
右ボストン人仕込は善西領地内仕込

仕込は善西領地内仕込  
以年々同く事仕込は善西領地内仕込  
長く事仕込は善西領地内仕込  
又仕込は善西領地内仕込  
おきり事仕込は善西領地内仕込  
チホーッカおきり事仕込は善西領地内仕込  
飯仕込は善西領地内仕込  
送は善西領地内仕込  
ミヤウミラリテースキムテパルタトメンクを



食料ニハ醫藥道ヲ行ヒ玉ヲ取ル取物ト後ニ後

洲ノ内ニ五ノイノテバルターメシタ甲必丹ゴマイニシ

世コロウインニシルト是ニガメロントシルト上東ノ甲必丹ニ

名ニ出産言語ニ取リ出産ガワロニシテ長少ノ出産文字

乃使ルル乃大コロウインノ出産手右ノ通友友ノ出産

洲帝及力并書籍地圖其外インストルクニヤシル海路指

南畫写本渡出帝役在ケニヤラウニヨロ姓名ガニヤトシル而方

書由ノ出産名コロウイニシテ既小海路中ノ詳文ノ國

諸ノ音ナリノ船海ノ人則帝ノ詳ニシテ一トモ後世及来

印一ニ送漏向ノ切ノ且ナホ一ツカ地方并クリルツケ諸

著ハル於詳列ノ後ニ世後ナホ一ツリニ至ル海路開

明ノ帝ヲ據ツテ世比方ノ海路一ツリテ後世ノ無レ

之リ以テ新板ノ地球書并海路指南書實調ニ世後方

是ヲ甲ノ方ノ月ノ旬ノ十八百六十年ノ上ノ旬ノ右子ノ取と既ニ後世及来

出ノ方ノ取と既ニ後世及来ノ未既ノ右子ノ取

而已出既ニ後世及来ノ出既ニ後世及来ノ右子ノ取

十百六十年ノ上ノ旬ノ右子ノ取ニ世後方ノ未既ノ右子ノ取

彼國ノ上月ノ二月ノ事也其ノ地方ノ度塔相成漏上銘後人

本邦ノ上月ノ二月ノ事也其ノ地方ノ度塔相成漏上銘後人



後右

モスコイニニ—スクラ姓名ハウエウワレシライ千〇十—千ヤコリ

とのらるシア十船造作初来乃ア再い着新無船加

地方より荷物運送の仕方中渡り

一 吉船二千八百七年

和邦文化  
十二年

七月下旬シア十船造作完成就供

舟士舟子古来組の者左に國主の命書呈す(以船荷物ヲ當

莫船船取ルお送り無患多利取ル再裁け此命在子ワ船と伴

い祝海中警固致—廣大東藩に船子ワ船実高長揚

取更甚船ニ大ニベテルブルカレ揚帆の出方此—考い小衣

中組名義ニシテ多利取下ニお供—中其命國主フルシイヤ

船泊りカラシシタツ要害之場此並官船救被りんが

以舟自舟エリナ船名が致—

一千八百七年七月十日

文化四年  
六月五日

シア十船カラシタツ由帆

仕ホメラニヤ

雪津五  
之船

シヤ以船取ル再裁け此命在子ワ船と伴

取り以史分太流画ニ船スニカ—ケシニヤ以船日急船ニ仕手

前右諸九利無船此命が船石船より何玉之船名何友

新り此船之辰お船の舟魯画無之官船葛莫斯画船取

一船荷物後送り此申心丹フロウインお船—以史分修

右船ト此船の船入傳例—通船官高藩此月船取



又諸君請見利画之船と見たり也  
右諸君利画并我々諸君取圍りて之  
船等々請見利画之者も諸君利画より  
流無誤役人より知りて官守台我々  
吊長白へ渡りて請見利画之字船等  
夜にアノ船へ渡りて我々諸君  
野良船に請見利画之船渡りて  
シアノ船例に渡りて我々諸君  
諸君トコケニ諸君船渡りて我々諸君

与人ノ船之と見たり也  
右諸君利画并我々諸君取圍りて之  
船等々請見利画之者も諸君利画より  
流無誤役人より知りて官守台我々  
吊長白へ渡りて請見利画之字船等  
夜にアノ船へ渡りて我々諸君  
野良船に請見利画之船渡りて  
シアノ船例に渡りて我々諸君  
諸君トコケニ諸君船渡りて我々諸君

押前係諸君利画之境  
右諸君利画并我々諸君取圍りて之



申少丹ゴロウイン右太虎画命右名リ口船子右名也  
右カラエミヤツカ帆より口右龍経右右名九利打兵康  
ホ几チムツル右名船供け右名右名九利打兵康  
遠く〜右名西無之右名然出右名存等之右名付備又遠より右  
浦仕務之右名魯右名更良船之右名シヤ右名行〜甲必丹右名ホウ  
抄之右名も右名取之右名舟甲必丹ゴロウイン右名務凡利無之右名  
ロント〜右名性然右名巾入用之右名信果買調且右名國名〜舟  
右名之右名舟〜廣大又之右名長右名等〜右名もハラ〜右名ヤ〜右名も入右名候  
清取ル右名名〜右名船〜右名舟〜右名人〜右名シ〜右名務凡利其前〜右名日右名

・ 諸魯西畫役人ハラシノアラヘウス之甲名、物有右名務凡利打兵  
魯右名更之合我右名始リ右名ハ〇シヤ十船航海之度も右名安右名名  
右名有申言〜右名候及右名後右名船右名名海之度も右名安右名名  
右名右名在右名地〜右名物右名取調右名言〜右名も〜右名以右名返右名言〜右名船右名役  
甲必丹右名口右名諸魯西畫役人〜右名名 後右名 ホゴウニヤ 姓右名 ケレイカ  
と甲〜右名名〜右名及右名後右名船口人〜右名ハ〜右名名〜右名地方巡視船之役  
右名立右名名〜右名原 右名 及右名其右名情右名以〜右名違右名申〜右名船右名役も右名〜右名方右名名  
甲必丹右名名〜右名名〜右名以右名諸凡利画 後人役 世キリタリ〜右名  
右名力ニカ〜右名甲〜右名名〜右名上〜右名名〜右名原 右名 及右名其右名情右名以

175



トシ

本文の所、由巡境に依りて、其の所、アインケリヤ、開及、此  
書、内、是、通、り、た、死、別、列、冊、後、書、及、沃、他、事、也、也、

和文ロンドンの急西画役人も諸君の事と歌罷巴之法を  
盟之國をも何なりも役人一人の所なりと云ふ、及、是、也、也、  
也、元、也、也、此、方、巡、境、と、歌、罷、巴、の、事、も、事、也、也、  
是、又、改、西、雅、巴、通、國、に、法、西、元、の、也、也、

一、カ、ヒ、タ、シ、ロ、ゴ、ロ、ウ、イ、レ、ロ、ヒ、ト、シ、テ、其、紙、の、為、事、也、  
リ、コ、ル、ト、後、元、利、画、の、ヒ、リ、ウ、ウ、ム、ア、ゲ、ト、ム、之、也、  
ア、ロ、ウ、ム、ミ、ア、ル、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

和文常流紙は、クワイヤ、和文常流紙、其、紙、の、違、也、  
和文、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、  
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

和文常流紙、後、名、フロ、ス、ロ、ヘ、シ、マ、子、也、  
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、  
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、

和文、事、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、  
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、  
也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、也、







清七十四日... 津仕世... 三月... 歳... 来... 相...  
清七十四日... 津仕世... 三月... 歳... 来... 相...  
津仕世... 三月... 歳... 来... 相...  
三月... 歳... 来... 相...  
歳... 来... 相...  
来... 相...  
相...  
P...  
潘...  
ベ...

ゴロウイン... 保... 西... イ... 昭... 著... 次...



甲子丹ゴロウインニ分ク 取流一又々 燒棄ル 長慶

ブシタツ

註カブシタツニセシスグノ家名ニ添テ御役也  
五ノ傍凡利画ニ役者ニ添テ其ノ中

お張住共役人

役者ユモントル

口レト

トル 役者ニリカウ云

亦リカウ云ニ添  
ニ取流ニ添テ其ノ中

リカウ連ミル 為連右ニモシスル 羅城魯西更役人 有リカウ云

取流ニトシテ 別名トシテ 巴ルタメシタツル 口レト

甘字ニ添テ 凡利画ニ添テ 先シヤナンドル 取流ニ傍凡利

画流有ル 取流トシテ 又亦家名書カケル 凡利画人 有シカウ云

口レト 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

為シカウ云 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

先シカウ云 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

所住者 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

アノ 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

本文喜望 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

一 本文コレヘハ 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云

一 長慶傍凡利画 取流ニ添テ 凡利画ニ添テ 凡利画人 有シカウ云







右舟中并南藩中形も進め介儀世職又々他職  
松平公之孫仕且三ノ十國國守一在江湾元利無之士  
ム一テ勤も右取松平組一守一外如松平守以帝進云ル中  
可免と水新ヲ操リ不自此取夫ケ會物買入取取仕  
清元利無之役人官右アツコウハル千石之他中ん各  
取甲必丹ト云テ云之ル中甲必丹コウインガ是果  
之ハ云と進云不ル中此操之書也此色下ノ役中付此等  
右甲必丹之アナル中然之役中後甲必丹以下  
士分之者連名右取書也此色下ノ役中

一石書の取此の上の進云ルを改羅巴市他等三ノ中

甲必丹

宛ハ度吉後進之他物ノ取役云々今此目也此ノ  
取付は新録ノ取物取付也此ノ取付は信元利無人ハ  
取役是等中且右取多取役及以右取又ノ甲必丹コウ  
イン進云ル中右取中此取右中上取時准之各外  
之取中此取也而信ノ取役は此取也進之信中松取  
多た取也此取也此取也一取取取取石アツコウノ書進進  
折是千八百九年の月中取取 本邦文化六年 將監右取取



述云中以長船海上有人船在彼處是以

何凡三船市多也  
有也此也

交之想凡二可名都也又

其行市之集了九月日同為英新西仍那島船止也

本文夕十在東西經度九百六十五六度東道南緯

九十六七度二町二町三町三町有小島名何國之島等

と尸多之と尸多之也修在仕外島二此在在村也

其他之有人物皆保形也此在在也尸多也

一右之ア十船長也等也世在也市以而、誘厄利 西軍船等

船之等ア十船長也等也世在也市以而、誘厄利 西軍船等

之角島西面分取之少付多也付我礼改出所等在也國也

帆出也也其為英新西仍那島船止也

三リヤ以事長也等也世在也市以而、誘厄利 西軍船等

細長也也其為英新西仍那島船止也

方之等也其為英新西仍那島船止也

新由玉王也其為英新西仍那島船止也

此也

一八下口又ア十也其為英新西仍那島船止也

英新西仍那島船止也







日少くも其れを以て物に似たり一匹甲必丹クウセシステル

及取り所舟ホーシトウに在り振る方又シテフア舟の通流

わく友友は法をてり舟のり舟止メ可ク名中後及舟

一シトフと一且必後任り舟に在り物に似たりシテフの舟

エ物船の舟何物をコンパニヤと名付たりヤミヨ少松之種

一舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

一ウアアハシヤリエイト 此西善利船高西画船他名 此船は不名被羊在

ホストシの船 船名ユノイミヨシヨ宮信古舟物に似たり

後乃又ルホーモトフオタウエタフと名付たりホレニヤ アメリカ

西画の舟 此船は不名被羊在 舟名 舟に似たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

右は西画之俗談に羊之俄羅航を舟に似たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり

舟のり舟に在り舟に似たり一シトウエタフと名付たり



此論にて修徳を懐し以て自ら合する事此論の意に  
由ニホーシトフ國論を好む事と云レシコノ事と云レ  
私と其ノ事今又右私と云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
此ノ事云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ

又云ホーシトフ修徳は萬事利無修徳は徳の  
之徳と云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
ケ子ラウコヨロ 此右云セシトフ初ホーシトフ事一実と云レ云レ云レ  
捕者一修徳と云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
此右云セシトフ初ホーシトフ事一実と云レ云レ云レ云レ

又云ホーシトフ修徳は萬事利無修徳は徳の  
レフ事トロハラスコイ役人 役者トヨロ 此右云セシトフ事  
能合三人役者ト云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
有人云云又ハ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
亞墨利州 修徳は萬事利無修徳は徳の  
修徳は萬事利無修徳は徳の  
有人云云又ハ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
有人云云又ハ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ  
有人云云又ハ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ云レ



戸捕入牢戸付形中ニ有物等ノ封中ハ有揚リ由也  
形中ニ有兵由尚五人式人ニ有之候ニ有揚リ由也  
之ノ字ノ中付並物等右ツホーツカ註文地名温地ニ有揚  
も不宣不ノ形由中右尚五人式等由り候由し念ニ候  
ゆりも有並放渡及以由尚右ブハ一ニ交代仕候後ゾ  
中何ノ世ホリ候中ハ何ノ事ナシバ、エツ候コシハニヤ  
之ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ右ホーツカ  
之候由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ右ホーツカ  
念中ニ候由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ右ホーツカ

此所通も月之中ノ有長上コシハニヤ  
遊遊ハ一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ  
吉物ハ一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ  
板一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ

本文ヲホーツカニシトフ百捕ハ  
此所通も月之中ノ有長上コシハニヤ  
遊遊ハ一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ  
吉物ハ一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ  
板一ノ由中付コシハニヤ候後ノ事ナシ



舟子也事一実在歌甲也此也

一石田路バ、エフ依コシ。ハニヤ路色五く、ハニヤ路同  
人素在コシ。パニヤ商人、娘、有く、ハニヤ路

一石田路コシ。ハニヤ路三、換毛、ハニヤ路右ホ、一、トフ

○タウエタフ美コシ。ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、一、ハニヤ路

コシ。ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

矢、ハニヤ路、ハニヤ路

犹と愛する人、白く人、もオホ、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路

一、ハニヤ路、ハニヤ路

是ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路、ハニヤ路



△有字と△不  
△字と△不

純不地功由之上上△有地△持来△病周純△在果△  
分不地合△上△下△の△お徳△也△

改國達中△以書籍△中國使人在△知能△之△上△何△何△年  
多行△之△終△号△往△後△  
純△カラスノヤルスカ△也△  
以△之△房△物△也△宣△孫△也△  
此△下△廊△  
△後△  
事△古△書△也△

二  
本文ガ口口千五フ在果ル板判甲必丹中托人名△内△  
列冊△及△次△仕△上△

本文△上△并△ノ△右△果△ル△事△一△説△  
果△  
而△  
後△  
是△  
と△



三  
 和文ホヤントトクタクエタフ雪際無之台我ト是也及則意西  
 古代ノ刑法ハ此ノ如ク尤モ同國同族傳テテ布エ口テナリ  
 ナミ心別冊ニ多段及譯仕テ上ルル

右Pとゆホーミトフ○ダウウエタフ不電際無之台我ト人切也  
 然一ツクも極免飛之ノ際モ之ノ外ナク身人ナリ何れ毒四  
 子級ニ子ワシP川ニ沈ニ那温一ニ生ト後Pト也此也

和文ホウヨエトフ○ダウウエタフ不電際無之台我ト人切也  
 是傳ハ此ノ如ク尤モ同國同族傳テテ布エ口テナリ  
 ナミ心別冊ニ多段及譯仕テ上ルル

右シPト秘為物葛英則亞則亞那加ト 是生此カニ定路

上仕兵在Pトト通ホスト人トモト時亞墨利加ト接紙ニP  
 余今之モ也ト其ト防凡利無之軍松亞墨利加地方也其紙  
 以是取リルルナリ其紙中ニ其ト在彼比ト其紙中ニ右高ヨ  
 ウイレ西墨利加ト夜ト方右墨利加ト水也其ト派漢也  
 之儀ハシト好方也ト彼人トモト右在彼ト其紙中ニ其紙  
 此ト其トコロウイント其紙中ニ其ト右中ニ其ト在右ト其紙中  
 海國ニ其ト其ト其紙中ニ其ト右中ニ其ト在右ト其紙中  
 此ト其ト好方ト其紙中ニ其ト右中ニ其ト在右ト其紙中  
 此ト其ト其ト其紙中ニ其ト右中ニ其ト在右ト其紙中  
 此ト其ト其ト其紙中ニ其ト右中ニ其ト在右ト其紙中



工儿ト華外ニ名古方ト水知ハ石コウイニ在臨ノ如シ  
支松ノ山ノ下トモノ山ノ水ノ石ノ石ト左近ノ地ト云  
石ノ海ノ舟ノ舟

一千八百十年春<sup>春</sup>シアナ松ノ一カワアラシケリスコイト 接誠清爲  
申山墨利水ノ松ホストニ松接誠ノ舟社松ノ舟ノ舟ノ舟  
凡利西軍ハ松廣永藩ノ舟墨利水ノ舟接誠ノ舟ノ舟  
廿二十ウイ千トヤ書ト云舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
以舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
取掛明年松ニ墨利水ノ舟墨利水ノ舟接誠ノ舟ノ舟

之由取リシ事年五月三日シアナ松高莫刺西部水ノ舟ノ舟

本文オシナウイ千トヤ書ト云舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
計リヨカノ温暖之地ト産物博ト多ト人物ト  
舊而改置巴ノ舟任仕ル中ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
生ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟

一 同軍ト夫コシバニヤミ子ノ舟墨利水ノ舟接誠ノ舟ノ舟  
松中ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
商人ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟  
舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟ノ舟



トP者... 辰子ワ 辰千八百六年十月局 ニア丁 辰千八百六年

カウシシタツ... 辰千八百七年...

中ウワトル... 辰千八百七年...

同不... 辰千八百七年...

千八百... 辰千八百七年...

圖... 辰千八百七年...

此止... 辰千八百七年...

易... 辰千八百七年...

葛... 辰千八百七年...

リ... 辰千八百七年...

節... 辰千八百七年...

辰千八百七年...

右... 辰千八百七年...

巾... 辰千八百七年...

名... 辰千八百七年...

尸... 辰千八百七年...

キ... 辰千八百七年...



「その年私に喜する莫し、交り舟に在りて人々  
事一乃く通る者同人並元年、此無墨利和以不  
少丹チゲインシ、Pのその高き前物積入廣東  
修紙少く、トロホザリ、チロイ、一、向之、渡不、通、の、所、  
交易、三、次、チゲイン、而、已、者、二、取、斗、取、船、上、ハ、ラ、フ、  
口、ホ、ギ、リ、チ、フ、イ、を、備、り、P、の、高、後、み、マ、ケ、イ、二、廣、東、  
易、不、取、渡、息、バ、ラ、ノ、フ、ル、お、取、り、ま、け、後、ハ、ラ、フ、  
兼、知、仕、長、崎、チ、エ、シ、チ、ク、使、節、シ、  
以、及、於、不、取、時、更、易、也、不、兼、知、之、取、及、取、り、舟、  
荷、物、請、取、一、戸、為、港、と、取、持、ハ、ラ、ノ、フ、ル、  
今、魚、画、無、取、目、此、  
一、松、ハ、長、崎、  
日、本、  
何、事、  
こ、お、  
山、南、  
何、事、  
こ、お、

別名トロホザリ  
リ、イ、ニ、ホ、











一 冬末之江 神邦 公干ヤタル 此地方は佐原佐次 楠葉 此方

此方 諸 河 川 人 等 見 交 河 舟 長 村 上 運 河 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟

舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟 舟















夢りるに滞りて其の清く〜シヤ十私入漢部は又分り  
〜シヤ十私入漢部は又分り  
官部之條に其の事一右私帆積を以て其の事一見  
はり海同人切なり其の事一見諸の事一右帆皮を以て  
之物之の事一又分りルツツと級漢之在る可なり其の事一霧  
めく事一見りる事一那成友彼の岸又ハ海岸亦色見  
更に其の事一何事一も其の事一不ハ事一之権ハ〜唐云時ハ又ハ  
海にシヤ十私入漢部は又分りルツツと級漢之在る可なり其の事一霧  
不ハ事一之権ハ〜唐云時ハ又ハ  
上ト口フ取漢之事一其の事一其の事一且南之方ハ高山  
と其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
口フ〜其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
〜其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
中其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一  
人。其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一其の事一































